

## 神の憐れみによる救出

創世記一九章15～38節

しかしロトはためらっていた。そこで二人の男たちは、主の憐れみによつてロトと妻と二人の娘の手をつかんで連れ出し、町の外に置いた。(16)

滅ぼされようとしているソドムの町からなかなか逃げだそうとしないロトに対して、二人の御使いはロトとその家族の手を取り、彼らを強制的に町の外に連れ出しました。「お前のことなんか知るもんか。もう勝手にしろ！」と言いたくなる場面で、主は憐れみを注がれたのです。こうでもしなければ、ロトはソドムの町と共に滅んでしまうからです。神の憐れみのゆえに、ロトとその家族は救い出されました。神が私たちを救おうとされるとき、この神の憐れみの御手を払いのけてはなりません。力強い神の救いの御手、憐れみの御手によつて私たちは滅びから救い出されるのです。今日も主の憐れみの御手に引かれて、この世の旅路を進もうではありませんか。「私は主、あなたの神。あなたの右の手を取って『恐れるな、私があなたを助ける』と言う。」(イザヤ四一13)。